

学校での現金集金は

先生方の負担が大きい！

学校現場の多忙さの解決に向け、気づいたところから改善を提案しようという質問しました。

下の表は、野田市内の小中学校における現金での集金状況です。毎月集金する給食費や年に一度のPTA会費や単発で集金する校外学習費などが挙げられます。

給食等検討委員会が発足した当時は、現金での集金は収納率があがるといわれていましたが、それ以上に煩雑な業務として、教職員の負担が大きくなっています。



市議
小室 みえこ

野田市内小学校・中学校現金で集金している学校数

項 目	小学校(20校)	中学校(11校)	合 計
給食費	4	6	10
PTA会費	8	6	14
学級費	8	6	14
教材費・ 日本スポーツ 振興センター掛金	10	7	17
校外学習費	17	5	22

小室

現場の先生方の負担軽減として、現金での集金を見直す必要があると思います。この表から見ても口座の引き落としで対応している学校もあります。特に給食費の集金は毎月のことであり、現場の声を是非聴いてください。

教育長

学校における集金のあり方は保護者の皆さんや学校の歴史などを尊重していきたいと考えています。

小室みえこのコメント

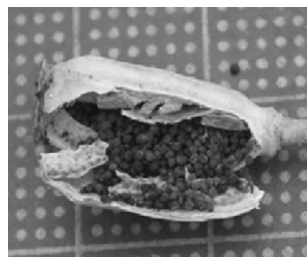
公教育における教職員の担う役割は非常に増えてきています。

同時に児童生徒が抱える問題も増える中、子どもたちに向き合う時間の確保のためにも、負担軽減を行うべきです。現金の扱いを極力控えるべきであり、是非、現場の声を聞き改善してほしいです。



特定外来植物への対応

「よく見かける可憐な花」が、「実は他の植物を枯らしてしまうほどの毒を持っている」ことをご存知ですか？ 除草作業をしても、外来植物を残して鑑賞用とする方もいるようです。外来植物について、他の自治体では注意喚起を行っているところもあり、野田市も対応していく必要があるのでは？



ナガミヒナゲシの花後の実。1,000～2,000個もの微粒の種子をばら撒き、繁殖していく。

自然経済推進部長 外来植物・外来生物についてホームページ等で注意喚起していくよう8月末を目途に準備していきます。



昨年から撮影した写真を資料としました（撮影：小室）

本来植えてあるサツキは、枯れてしまい、外来植物が繁茂している。



店舗の前の植え込み。外来植物が除草され、サツキはほぼ元気な状態。